

## 1 目標指標の達成状況

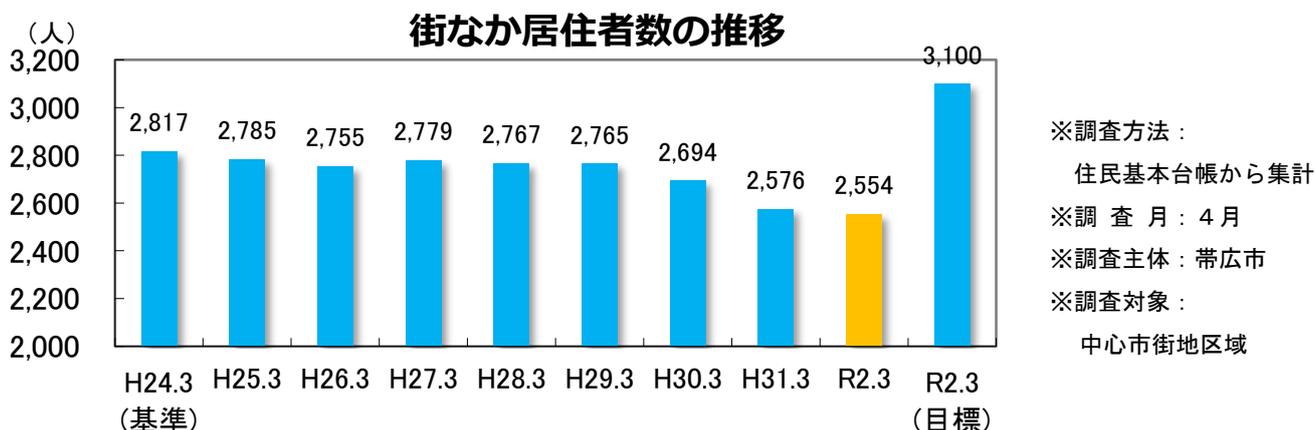
目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	目標指標達成状況
街なか居住の促進により、 居住人口の増を図る	街なか居住者数	2,817 (H24.3)	3,100 (R2.3)	2,554 (R2.3)	未達成
既存ストックの活用による にぎわいの創出と魅力づくり により、来街者、歩行者 の増を図る	歩行者通行量(平日)	22,905 (H24)	24,000 (R1)	23,035 (R1)	未達成

## 2 目標指標ごとの進捗状況

※主要事業の進捗状況は、参考1のとおり

### (1) 「街なか居住者数」

#### ア 調査結果の推移



#### イ 目標指標達成状況の理由

未達成となった主たる理由は、計画策定時に104人の居住者数の増加を見込んでいた「西2・9西地区優良建築物等整備事業」が事業中止の状況が続いていること、また、244人の居住者数の増加を見込んでいた「開広団地再整備事業」が令和元年度末で110人の居住者数の増加にとどまっていることである。

また、中心市街地では新たな集合住宅の建築など、居住施設整備の動きが低調であったことも要因と考えられる。

(中心市街地及びその周辺部における昨年度対比人口増減が大きいエリアは、参考2のとおり)

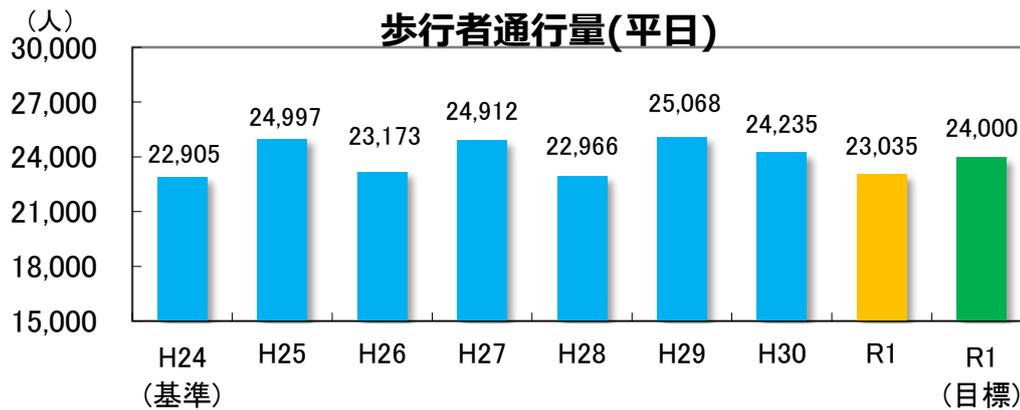
#### ウ 今後について

「開広団地再整備事業」は、有料老人ホーム棟の入居者が昨年度から10人増加しており、入居が介護職員の雇用に応じて段階的に進められている。今後より一層の効果を発現させていく必要がある。

また、現在、「西3・9周辺地区第一種市街地再開発事業」において、19階建て147戸の大規模な居住施設の建設が行われており、引き続き着実な事業推進を支援していくなど、まちなか居住に向けた取り組みを進めていく。

## (2) 「歩行者通行量（平日）」

### ア 調査結果の推移



※調査方法：

9時～20時までの歩行者通行量を計測

※調査月：

6月最終週又は7月第1週金曜日

※調査主体：

帯広商工会議所

※調査対象：

中心市街地内18地点

### イ 目標指標達成状況の理由

未達成となった主たる理由は、計画策定時と比較して「北の屋台事業」などの取り組みにより「平日夜間の歩行者通行量」は増加傾向にあるものの、「平日昼間の歩行者通行量」が夜間の増加数を上回る減少となっていることにある。

### ウ 今後について

新型コロナウイルス感染症の広がりに伴う影響が懸念されるが、第3期帯広市中心市街地活性化基本計画に位置付けた事業を着実に推進し、「平日昼間の歩行者通行量」の増加を図っていく。

特に、現在整備中の「西3・9周辺地区第一種市街地再開発事業」において、令和2年度は6月に事務所棟が供用開始となり、11月以降に分譲マンションが完成、令和3年度は店舗棟が完成する予定であり、居住、ビジネス、買い物等による歩行者通行量の増加を図っていく。

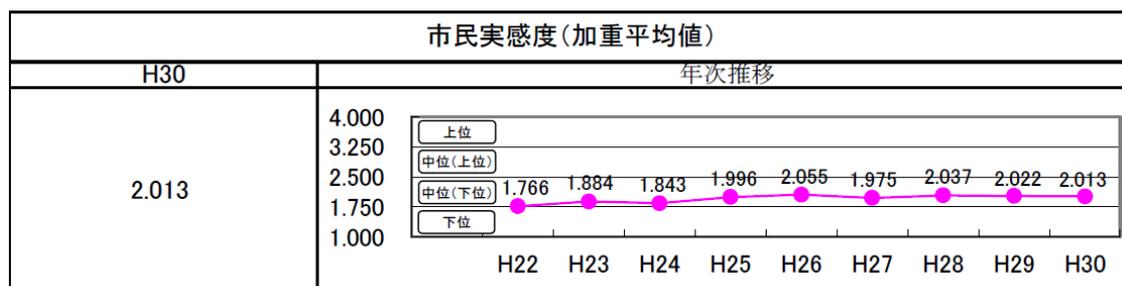
この他、昨年度オープンした「創業・起業、事業創発を目指す人材や支援者等が集い交流する施設(LAND)」を活用した、情報交換や勉強会等による日常的なにぎわいの創出が期待されている。

## 3 市民意識の変化について

帯広市では、市民まちづくりアンケートを実施しており、その中で「中心市街地に魅力とにぎわいがある」の設問を設け、市民実感を調査している。

令和元年度は、第七期帯広市総合計画の策定年度であり、上記の設問についてアンケートを行わなかったことから、参考に平成30年度の実績を記載している。

直近年度(H30)の加重平均値は2.013となり、第2期計画実施前(H24)の1.843から、0.17上昇したものの、市民実感度は依然として低い状況が続いている。



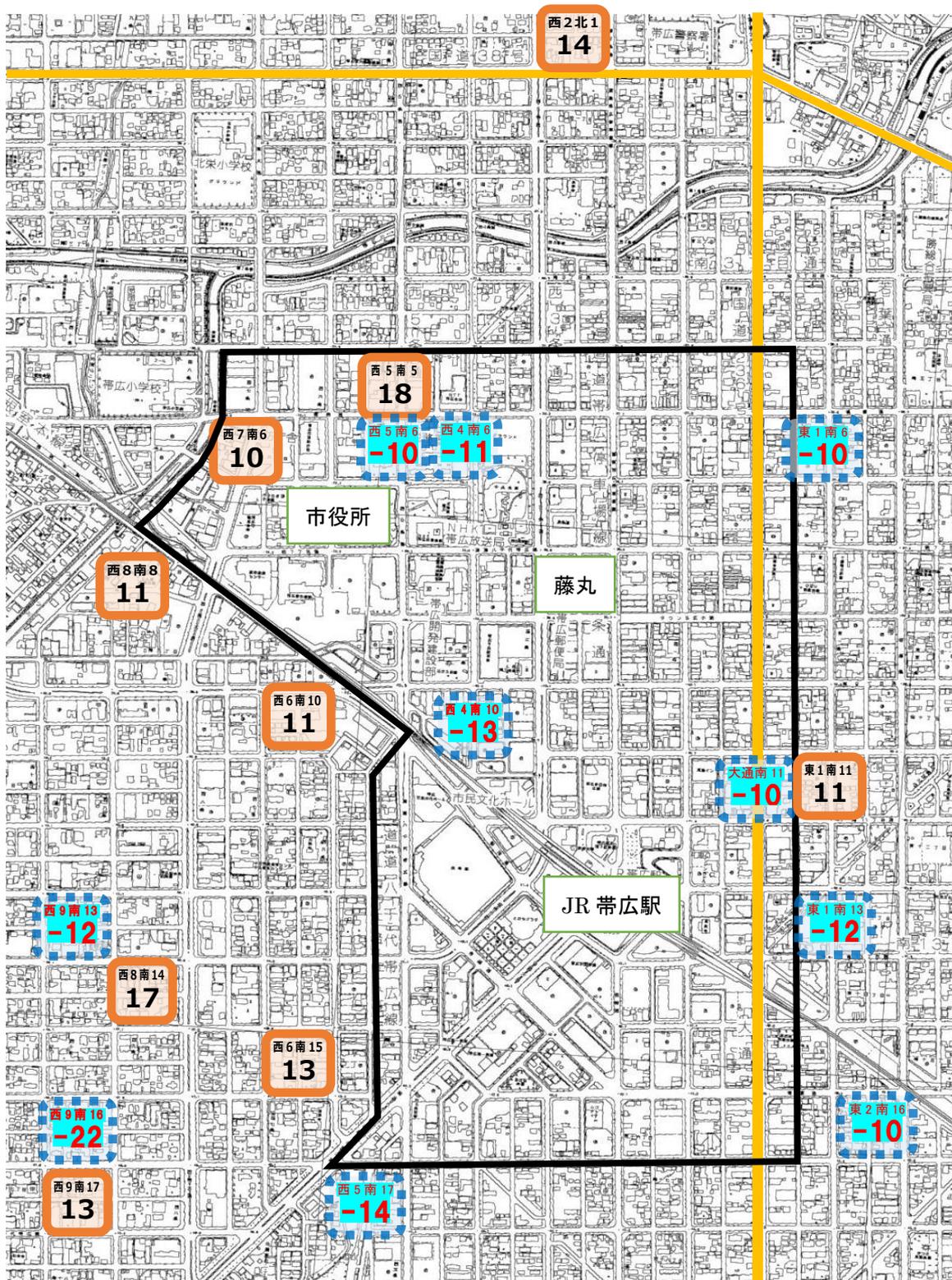
## 参考 1

### 目標達成に寄与する主要事業の状況

1 開広団地再整備事業（帯広市開広団地地区第一種市街地再開発事業個人施行者）	
事業概要	過去に卸売団地として整備された地区において機能の更新を図るため、市街地再開発事業により高齢者向けの居住機能（有料老人ホーム）、デイサービス、賃貸住宅、商業施設などの機能を有する施設整備を行う。
目標値・最新値	目標値：街なか居住者数 244 人増 最新値：110 人の増（R2.3 末）
目標達成状況	平成 25 年度に実施設計が完了し、平成 26 年 4 月から本体工事着工。平成 27 年 2 月に整備は完成。令和 2 年 3 月末現在、居住者数は 110 人とどまっており、目標の達成には至っていない。
目標を達成出来なかった理由	整備完了以降、各施設への入居が進められているが、賃貸住宅はほぼ満室の状態が続いているものの、有料老人ホームについては職員の雇用確保に腐心しており、職員雇用の進捗に合わせて、段階的な入居を進めている状況であるため。
2 西 2・9 西地区優良建築物等整備事業（医療法人社団 博愛会）	
事業概要	大型建築物の移転跡地に高齢者向けの住居やサービス施設、商業施設などの複合施設を整備する事業
目標値・最新値	目標値：街なか居住者数 104 人増 最新値：事業未完了により 0
目標達成状況	居住系では高齢者向け住居 69 戸、賃貸住宅 22 戸、このほか関連サービス施設、商業施設を含んだ複合施設の建設を計画していたが、建設資材価格の高騰により本体工事の入札が不調に終わり、事業は完了していない。
目標を達成出来なかった理由	資材価格の高騰により本体工事の入札が不調となり、現在の資金による事業実現は難しくなったことから、本体工事以降の着手に至らなかったため。
3 広小路アーケード空間を活用した集客・回遊・滞留事業（帯広広小路商店街振興組合）	
事業概要	平成 23 年度に改修した広小路アーケードの空間を活用し、「七夕まつり」、「中城ふみ子の歴史展」、「スイーツフェア」などのソフト事業を実施する。
目標値・最新値	目標値：歩行者通行量 496 人増 最新値：666 人の減（広小路商店街の歩行者通行量 H24 と R1 の差）
目標達成状況	「七夕まつり」、「帯広まちなか歩行者天国」など、アーケード空間を活用し、商店街に人を呼び込む各種ソフト事業を展開したものの、平日の歩行者通行量は 666 人減少しており、目標の達成には至っていない。
目標を達成出来なかった理由	商店街や関係機関・団体により多種多様なイベントや取り組みを実施しているが、個店の魅力発信など平日の来街を促す事業の効果が期待どおりに発揮されていないため。

## 参考 2

中心市街地及びその周辺部における昨年度対比人口増減が大きいエリア  
(昨年比 10 名以上の人口増減があったエリア)



### 【参考】1年前との人口比較

- ◇ 市内全域 (166,093 人→165,384 人 99.6%)
- ◇ 中心市街地 (2,576 人→2,554 人 99.1%)

### 【参考】増加している主な地区 (市内全域)

- ◇ 東10条南16丁目 (25人→97人 388.0%)
- ◇ 清流西4丁目 (661人→711人 100.8%)
- ◇ 清流西3丁目 (399人→448人 112.3%)